

霞ヶ関中学校 Kasumi Plan 3 0

学校教育目標

自主の誇りをもち、未来を拓く力をもった生徒の育成

目指す生徒像

- ◎自ら学び、互いに高めあう生徒
- ◎思いやりのある生徒
- ◎志とやり遂げる力をもった、たくましい生徒

<基本姿勢>

- R&V・PDCAにより、実態（学校評価）を根拠として、具体的な目標と5W1Hの明確な計画を作成し、実践を推進する。（自己評価シートへ反映）
- 分掌担当による企画優先の推進。（三ヶ月→一ヶ月→一週間の提案）
- 進捗状況の共有を目的としたマンスリーレポートの提出。

5つの重点課題

①学力向上

- 【重点】総合的な学力向上策の実施と成果の確認
- ・「か・す・み ラーニング」の深化充実と小学校との接続
 - ・学習環境の整備、充実（掲示、Kゼミ）
 - ・学力向上目標（指標）の設定と達成評価の実施→R&Vの可視化
 - ・授業の受け方8ヶ条、授業の進め方4ヶ条の徹底
 - ・家庭学習の習慣化と効率化

②やる気と力を伸ばす指導の推進

- 【重点】自己指導能力の育成を目的とした学級経営の推進
- ・主体性を伸ばさせる計画的な学級活動の実施（リーダー&フォロワーシップ）
 - ・生徒の自信を深める話し合い活動の充実
 - ・共感的人間関係づくりを目指した学級経営
 - ・縦割りを基盤とした、自発的、自治的な学校行事への取り組み
 - ・三年間の積み上げを意識した旅行行事の検証と実施（平成31年度行事計画）

③豊かな心の育成

- 【重点】いじめ0・不登校0の実現
- ・道徳教育の充実（考え、議論する道徳授業研究・体験活動、実践活動の実施）
 - ・特別支援教育の視点の重視（交流活動の工夫と計画的実施）
 - ・環境整備（情操の育成）の徹底→美化、整備、花、音楽、絵画（各プログラム）
 - ・SST、PAなどの実施による共感的人間関係づくりの推進
 - ・「あいさつ、言葉づかい」の指導の質の向上
 - ・個別支援プログラム、教育相談体制の再整備

④学校・家庭・地域の連携

- 【重点】学力向上、不登校未然防止を目的とした小中連携の推進・地域理解
- ・小中一貫までのタイムスケジュールを策定し、霞5校での「生徒指導」「学力向上」小中連携教育プログラムの実施
 - ・地域の教育力の活用（地域貢献活動への参加、地域理解教育計画の策定と実践）
 - ・学校情報の積極的な発信（学校HP・学校メール・学校公開の充実）
 - ・地域との連携による安全安心の見守り（校区小学校と連携した防災、緊急対応プログラムの策定・学校危機管理マニュアルの地域への周知）

⑤キャリア教育の充実

- 【重点】「夢・志・目標」の達成を具体的に意識したキャリア教育の充実
- ・職業体験（JSを含む）、上級学校訪問・授業体験など、啓発的経験の連続性、課題設定を明確にした実践
 - ・「基礎的・汎用的能力」の明確な育成目標を学年ごとに設定し、3年間を見通した、キャリア教育全体計画、年間計画の策定と実践の評価、検証